

三、福佐地方情勢

九州特に福岡縣は筑豐炭坑、北九州の製鐵その他金屬工業、大牟田市に於ける化學工業等軍需品生産工業にあつては日本の心臟として重要性があり、且つ政治的には支那中國ソヴェットロシア攻撃の足場としての重要地位である  
日本帝國主義の戦争準備によつて重工業地帯は活氣を呈してゐるであろうが勤勞農民及中小商工業者は生活の窮乏に喘でゐる

左に福岡佐賀縣下に於ける欠食兒童數を掲げてみやう（十一月十一日九日所載による）

佐賀縣 二六七五人 福岡縣下 五八〇八人  
更に福岡縣を郡別にすると（組合關係地區の分のみ）  
八女郡 四七一一名 築上郡 三一九名 三潞郡 二四八名

朝倉郡 二四一名 糸島郡 二一三名 田川郡 二〇三名  
筑紫郡 一三六名 三井郡 一二八名 山門郡 一〇二名  
八幡市 一二一名

かかる郡部に於ける數字は農村の貧農小作人の窮乏を立證すに余りあるものであり、田川郡は炭坑地帯として労働者の生活が如何に窮乏してゐるかを即ち炭坑労働者の賃銀の低劣を語るに足るであろう

また現下の經濟恐慌に生活苦を重ねてゐるのは貧農小作人のみでなく自作農の如きも田を買つたためにその負擔を重くし借金の支拂に窮してゐる佐賀縣下に於て低利資金の支拂が出來ずにある者が六八名金額五千三百十二圓である

一方地主は昭和六年から舊地が賃貸價格に改正されて租税の負擔を減少せるにかかわらず農村の窮乏を地主等のみの窮乏